

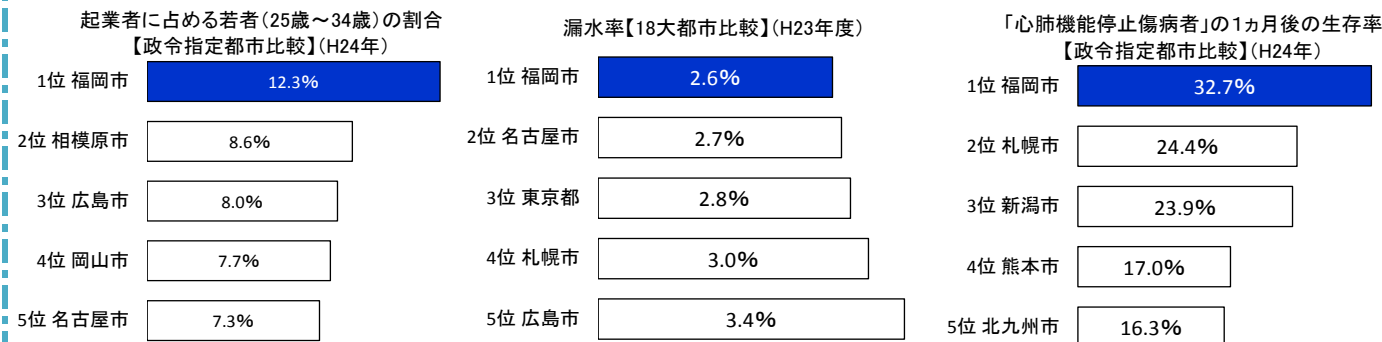
福岡市PR新サイト「Fukuoka Facts」公開！

毎月5・20日公開中の「Fukuoka Growth」で作成したデータなどをもとに、データで福岡市の魅力をPRのする「Fukuoka Facts」が福岡市の公式ページとして新たに公開されました。

URL:<http://facts.city.fukuoka.lg.jp/>

このサイト監修には、当研究所の情報戦略室も参加しています。今回は「Fukuoka Facts」の「福岡がNo.1」ページより、福岡市が「日本一」のデータをいくつか紹介します。

「起業者に占める若者率」「漏水率」「救命率」など多数（詳しくは「Fukuoka Facts」で！）



資料：平成24年 就業構造基本調査

資料：日本水道協会『公表された業務指標（P I）値一覧表』

資料：福岡市消防局

*漏水率… 家庭などへ配水される水量のうち、水道管から漏れる水量の割合

福岡市が政令指定都市などと比較して「日本一」である項目は、起業者に占める若者割合の高さや水道管からの漏水率、心肺停止疾病者の救命率など多岐にわたります。このほかにもさまざまな「日本一」がありますので、詳しくは「Fukuoka Facts」サイトでご確認ください。当研究所の「Fukuoka Growth」も、福岡市の成長力を発信し続けていきます。（情報戦略室研究主査 畠山尚久）

福岡アジア都市研究所 情報戦略室 URC Information & Strategy

URCニュース セミナー等の開催予告及び報告

①平成25年度 第5回都市セミナーを開催します。

「人が集いスタートアップする都市・福岡の形成に向けて」

3月5日水曜日 13:30～16:30(開場 13:00)福岡市役所 15階講堂

今回の都市セミナーは、当研究所の研究報告とともに、スタートアップの推進・支援の第一線でご活躍中のゲストによる講演や事例発表、さらに会場の皆様とのQ&Aセッションを通じて、「いきいきと暮らせる・働ける福岡」「新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり」を、皆様と一緒に考える機会として開催するものです。スタートアップ関連企業・組織、研究者、行政職員ほか幅広い市民の皆様のご参加をお待ちしています。

②平成25年度 報告会を開催しました。

2月20日木曜日『ベトナムの経済発展と都市化の現状』と題して本年度第3回目の「URCアジア情勢報告会」を開催し、当日は36名のご参加をいただきました。

豊富な若年就労人口、勤勉な国民性、高い経済成長率、そして安定した政治・治安情勢等、ベトナムはアセアン諸国の中でも比較優位性が高い国の一つです。福岡に総領事館も開設されており、これからの交流拡大に大きな期待が寄せられています。

今回の報告会では、ベトナムの現地事情に精通したビジネス支援のエキスパートである株式会社ジーコム 代表取締役社長 村上隆英 氏から「ベトナムのビジネス風土」をテーマに講演いただき、続いて、最近ハノイ、ダナン等を現地視察した当研究所職員の仲野が「ベトナムの都市インフラ」をテーマに講演を行いました。

現地写真を数多く引用した報告に、受講者はメモを取りながら熱心に聞き入り活発な質疑応答が行われました。

なお、セミナー当日の講演資料の一部は、ホームページへアップしております。

(主任研究員 夏井圭介)

都市政策資料室 * 利用案内/場所：福岡市役所北別館 6F 開室：月曜日～金曜日 10:00～17:00

貸出：1人10冊まで 4週間以内（貸出には身分証明書が必要です。平成26年3月31日月曜日は、月末整理日のため休室いたします。*福岡市役所1階の情報フラゲで本が返せません。*臨時休館があります



③平成25年度 市民研究員 研究成果発表会を開催しました。

2月23日日曜日、アクロス福岡2階 セミナー室2を会場に、「平成25年度市民研究員研究成果発表会」を開催しました。

都市としての福岡の活気や成長は、ひとえに、様々な人材の集積とそれらの活動や挑戦でもたらされている、と言って過言ではありません。今後もそうした姿を保てるような福岡の将来像、すなわち『人が集い輝く福岡のまち』をテーマに、本年度は5名の市民研究員の皆さんが、昨年6月から約8か月にわたって調査研究活動を続け、この日、様々な角度・切り口からの研究成果をまとめ、それぞれ発表しました。

休日午後の開催でしたが、好天にも恵まれ、多くのご参加をいただきました。誠にありがとうございました。

発表会でいただいた意見などを参考にしつつ、研究成果は報告書としてとりまとめます。3月下旬の福岡市への報告会を経て、報告書が公表されました際には、ぜひご一読ください！
(主任研究員 白浜康二)



④平成25年度 第4回都市セミナーを開催しました。

2月24日月曜日、『“技術×アイデア”で、健康づくりのイノベーション～ゲームの力で健康増進！ 変えるヘルスケア、変わるリハビリ現場～』と題して開催。医療福祉やコンテンツ関係者、市民の方など83名の参加をいただきました。

講演では、「リハビリ支援ゲームを病院と大学が共同で開発している現場の様子」「医学的データを交えた“楽しみながら”リハビリに励む必要性とその効果」、「オランダでの取り組み」や「医療・福祉現場を変え得る可能性」など、医師・研究者・コンテンツエンジニアそれぞれの立場から、ITがもたらす娯楽性を活かしながら新しい健康づくりのスタイルに挑戦している福岡発の動きを紹介してもらいました。

なお、セミナー当日の講演内容は、ホームページへのアップに向け現在編集中です。今しばらくお待ちください。
(調整係長 仲野雅志)



URC資料室活動報告 資料の整理を行いました。

都市政策資料室では、平成25年11月25日月曜日から12月6日金曜日まで、2週間行った蔵書点検で、書架の整理も兼ね、雑誌(130タイトル、約2,800冊)・図書(約3,200冊)の整理の処分を行いました。

処分図書の一覧は、情報資料連絡会のメンバーはじめ、福岡県内の公共図書館、大学図書館等にお送りし、各機関でお役にたてただけよう努めたいと思っております。年度末のお忙しい期間ではありますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

今月のおすすめ

和のランドスケープ・プランニングー日本の美しい街なみ創造ー増田元邦氏著 日本緑化センター 平成26年1月31日発行

平成18年度市民研究員で、平成19年度の短期研究員OBの増田元邦さんが本を出されました。以下「グリーン・エイジ2014 2月号」(一般財団法人 日本緑化センター発行)にご本人が書かれた紹介文を引用させていただきます。

本書は、著者の長くニュータウン開発に関わってきた経験と技術的蓄積が、東北大震災の復興まちづくりに資することを望んで書き下ろされた書である。

日本の国土は、緑濃く、水豊かな自然に恵まれている。日本は、四季変化に富んだ美しい自然を背景として、独自の風土や文化を育んできた。空間計画においても、茶室や日本庭園に代表されるように、繊細な独自の美の世界を築いてきた。

しかし、近代の都市空間整備においては、日本の自然・風土とは相いれない事例が多い。

日本人は、小さい空間整備は得意とするが、都市的スケールの空間整備では、手をこまねき、安易に欧米のランドスケープ手法が導入されている。本書では、日本の自然文化に適合した「和のランドスケープ手法」の重要性を提案している。

都市は、建築・土木空間と緑・水・道空間のオープンスペースにより空間構成されている。良好な都市景観を構成するには、建築・土木空間とオープンスペースとが巧みに融合されることで、都市や地域の独自の美しい街なみが創造される。また、緑・水・道の各空間が相互に連機することで、空間どうしの相乗効果を発揮する。本書は、この緑・水・道の計画・設計の実際について、空間構成の視点から解説されているものである。



都市政策資料室* 利用案内/場所：福岡市役所北別館6F 開室：月曜日～金曜日 10:00～17:00
貸出：1人10冊まで 4週間以内(貸出には身分証明書が必要です。平成26年3月31日月曜日は、月末整理日のため休室いたします。*福岡市役所1階の情報フラゲで本が返せます。*臨時休館があり